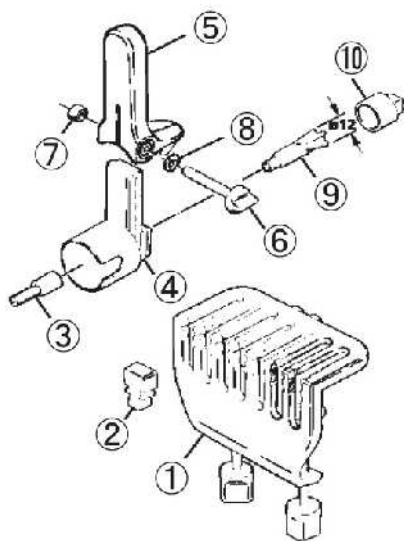


ドイツ・ウルフクラフト社の“ほぞ切りセット”は、どなたでも簡単にプロ顔負けの木工作業が出来るツールです。とくに精巧な木材の接合作業に適しています。本説明書の注意事項を守り、説明に従って使用していただければ、素晴らしい作業ができます。

#### [部品リスト]

グリッド  
(ガイドレール兼クランプ)  
スペーサー  
シャフト(軸)  
カッターガイド  
ハンドル  
ネジ  
ナット  
ワッシャー  
あり溝カッター/  
ほぞ切りカッター  
アダプター  
(カッター交換用)



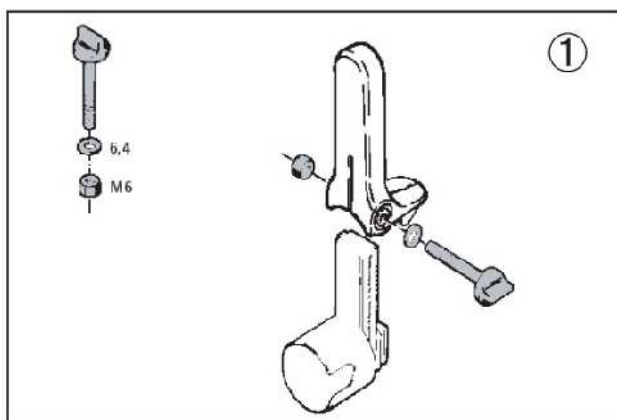
#### 安全上の注意・警告

- ・完全に準備が整うまで電気ドリルは電源に接続しない事。
- ・作業以外は、必ず電源プラグを抜いてください。
- ・作業場所は整理整頓し、スムーズな作業が行なえるよう心掛けてください。特に、電気ドリルの電源コードには充分配慮してください。
- ・作業時には、必ず防塵メガネ等の安全防具を着用してください。
- ・“ほぞ切り”のハンドルと電気ドリルは両手でしっかりと持って作業してください。片手作業は大変危険です。
- ・回転部分には、体を触れないよう又、着衣・頭髮が巻き込まれないようご注意ください。
- ・グリッドにカッターガイドを入れ込んでから電気ドリルのスイッチを入れてください。

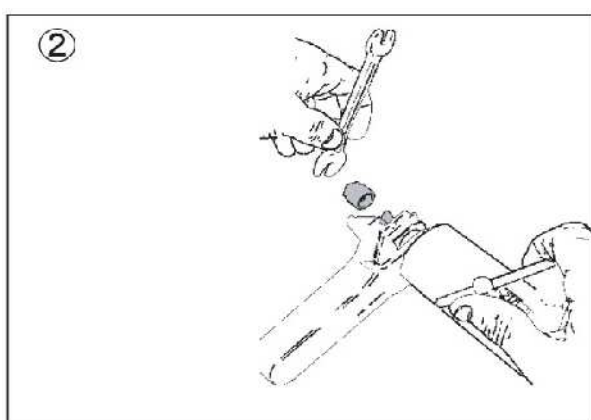
#### 使用上の注意

- ・作業前にカッター軸部に少量の油をさしてください。長時間使用する場合、途中でも油をさしてください。
- ・カッターが鈍っていないか、割れ・欠けがないか確認して使用ください。
- ・作業開始前に3分程度空運転し、異常がないか確認してから作業に取り掛かってください。
- ・初めての使用の場合、テスト材で試してから本作業を始めてください。

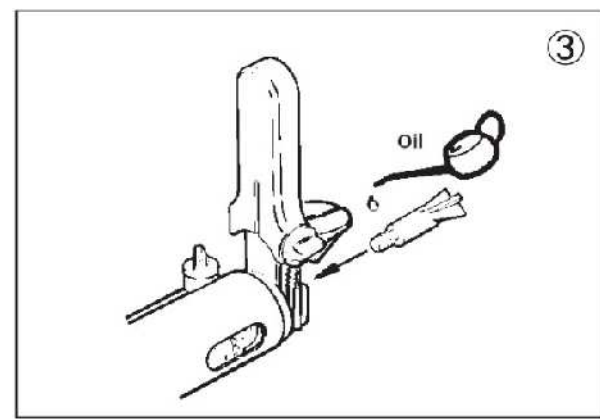
## 使用方法



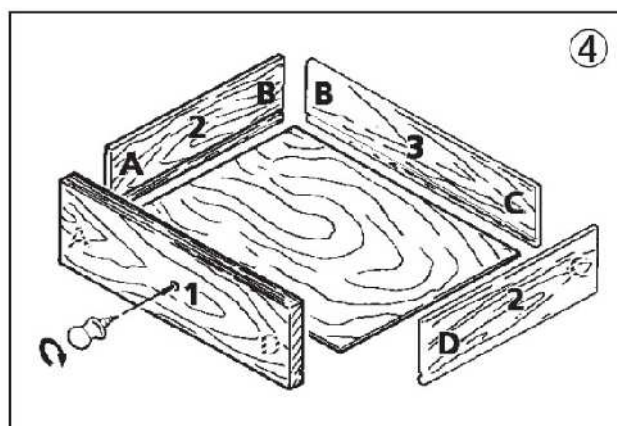
組み立て  
ネジ、ナット、ワッシャーで、カッターガイドとハンドルを固定します。切り込みの深さは、ネジを緩め、ハンドルをスライドさせて行います。



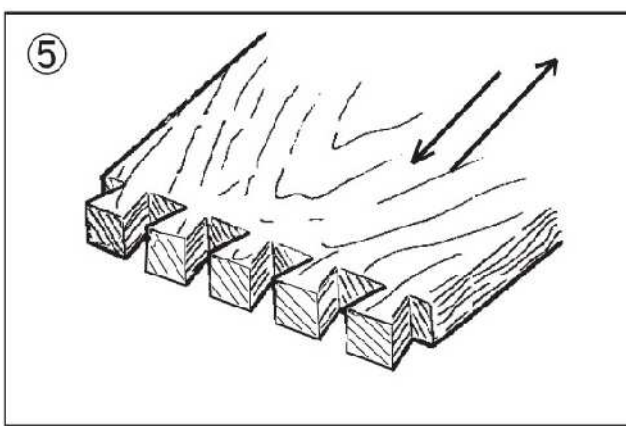
カッターの取付け・取外し  
電気ドリルの電源を抜きます。チャックハンドルをドリルのチャックに取付け、回転しないようにします。専用アダプターをカッターにかぶせ、スパナ(13mm)でカッターを緩め(締め)ます。



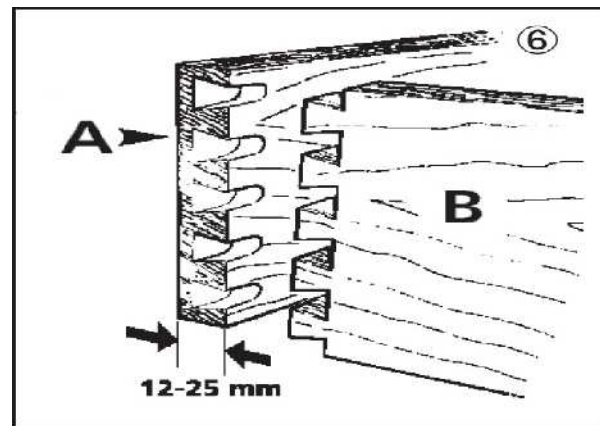
カッター軸部への給油  
毎回使用前に、数滴、油を差してください。



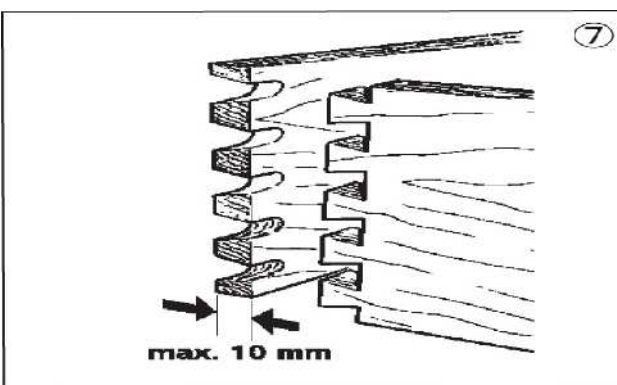
作業の開始  
図のように、各板の内側の接続部分に番号を付けると、作業がしやすくなります。



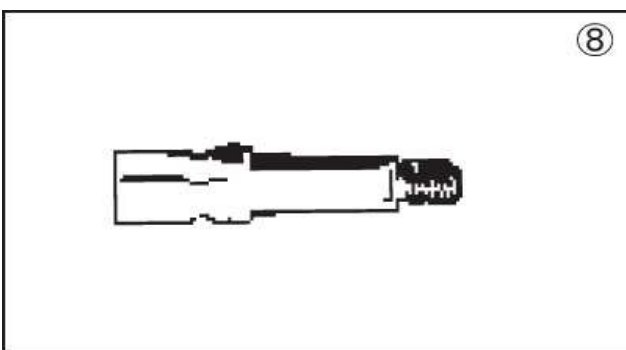
板の方向は、切削方向と、板の目が平行になるようにしてください。そうしないと綺麗に上がりません。



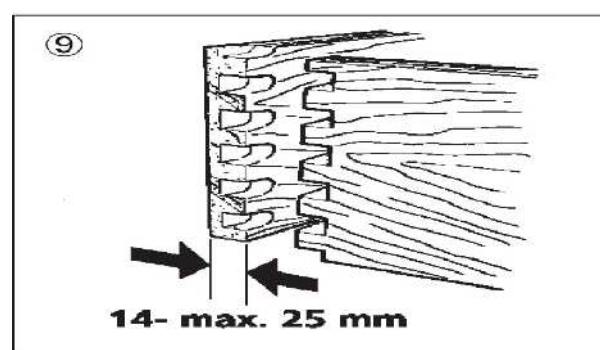
A板(メス板)の厚さが12~25mmの場合、図のような仕上がりになります。



A板(メス板)の厚さが10mm以下の場合、図のように切り口が貫通した仕上がりになります。

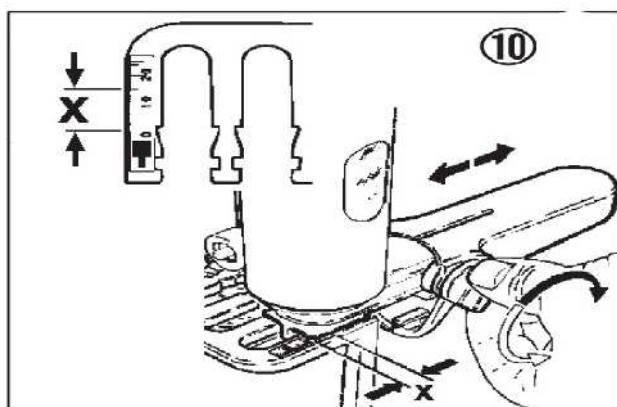


ほぞ切りカッター



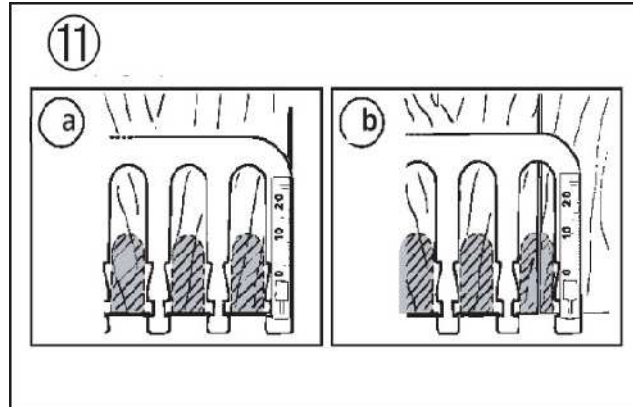
ほぞ切りカッターの場合、メス板が14~25mmの場合は図のように、また、12mm以下の場合は、貫通した仕上がりになります。





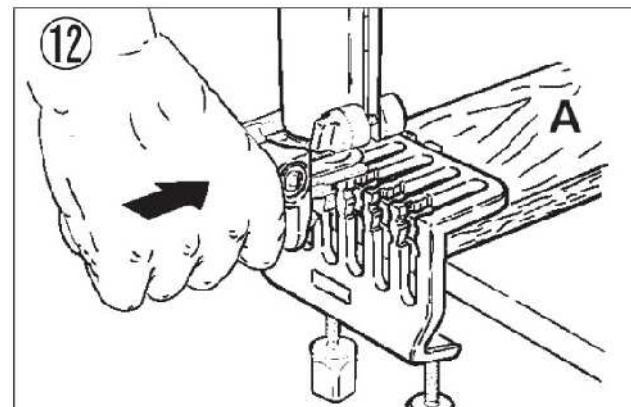
#### 切削深さの設定

グリッドの左側の目盛りを使い(ほぞ切りカッターの場合は右側の目盛り)、ハンドルのネジを緩め、切り込み深さをB板(オス板)の厚さにします。例えば10mmの場合は、カッターガイドの先端が目盛りの10mmの位置で固定します。

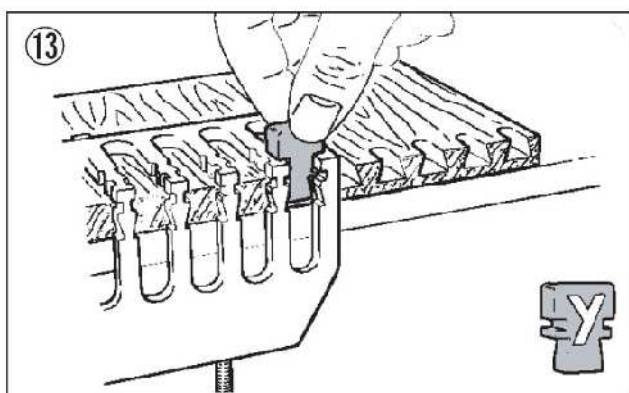


#### メス板の加工

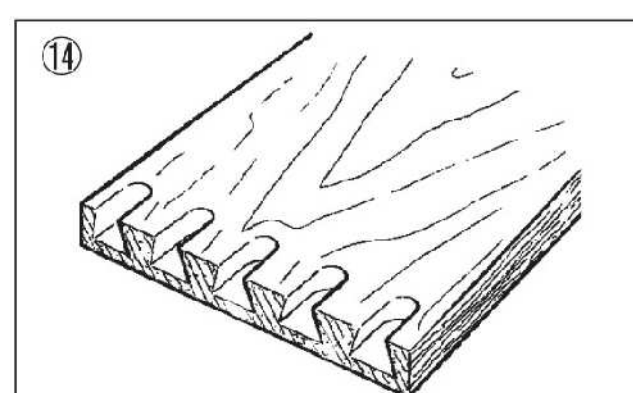
グリッドで板を固定します。板の端が溝の間にくる時は、同じ厚さの添え板をし、板が割れるのを防ぎます。(図11b)



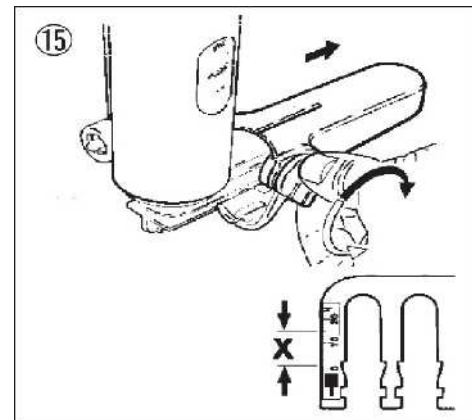
セットが完了したら、カッターガイドを前方よりグリッドの溝に入れ、電気ドリルのスイッチを入れて溝に沿って押し込むように切削していきます。止まるところまできっちり押し込んでください。



もし、グリッドの幅より広い板を加工する場合は、グリッドをずらし、加工済の溝と、グリッドの端の溝を合せ、付属のスペーサーを差し込んで、グリッドと溝の位置合せをします。先程と同じ要領で残りも加工します。

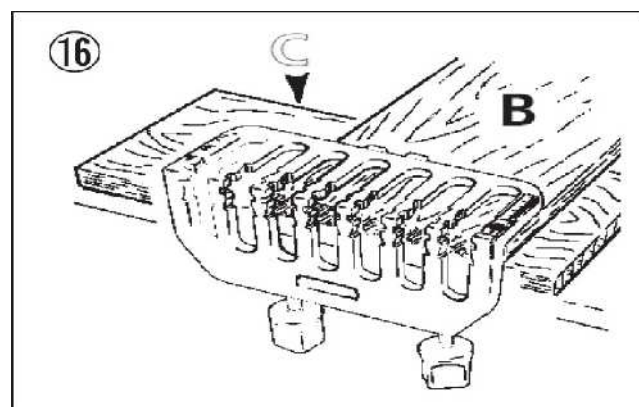


#### A板(メス板)完成



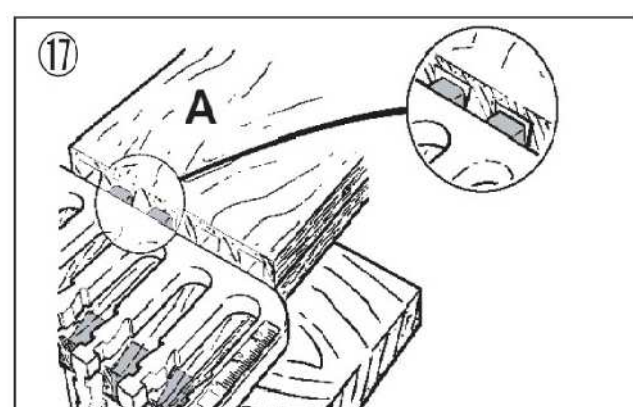
#### B板(オス板)の加工

切削深さを設定し直します。先程と同じ様にグリッドの左端(ほぞ切りカッターの場合は右端)の目盛りを使い、B板厚さ+8mmにセットします。

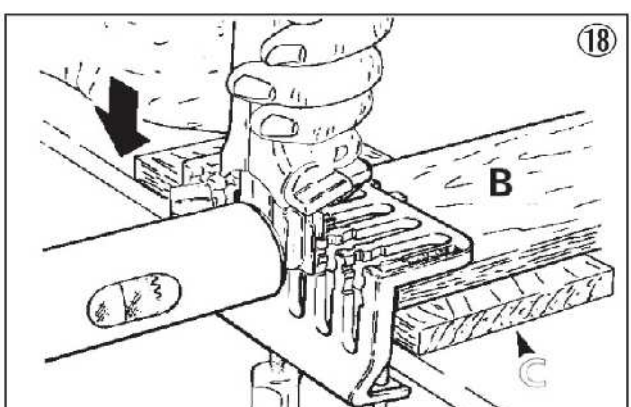


#### B板(オス板)の加工

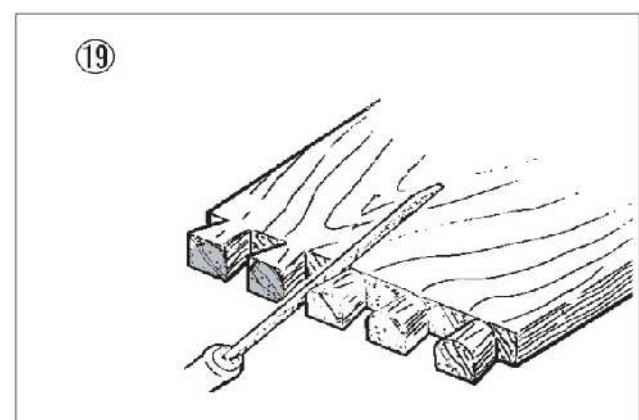
捨て板(10mm厚以上)を用意し、B板の下に敷きます。薄いベニア板をB板の上に敷くと更に綺麗に仕上がります。



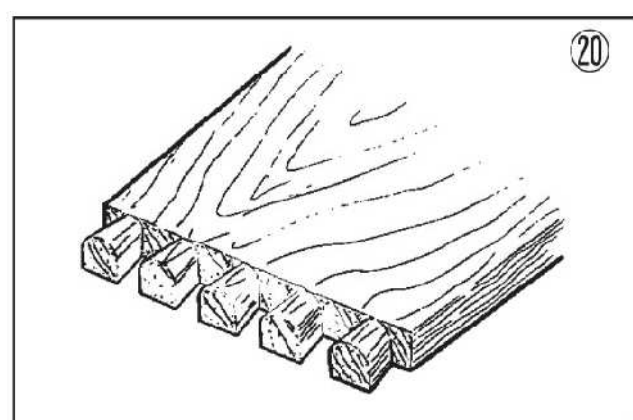
先程加工したA板(メス板)を、図のようにグリッド先端の凸部にはめ込み、A,B板の両端をきっちりと揃えて位置決めし、グリッドを固定します。



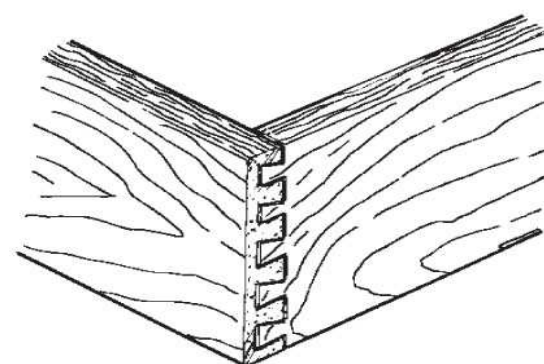
今度は上からカッターガイドをグリッドの溝に入れドリルのスイッチを入れて切削します。



B板(オス板)の内側をヤスリ、カッター等で削って丸めます。削りすぎないように、A板(メス板)と合せながら、すこしずつ行なってください。端に中途半端なオスが出来た場合にはノコ切りで落としてください。



#### B板(オス板)完成



加工した板を組みます。端をカンナや紙ヤスリで揃えれば、一層綺麗に仕上がります。

